

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年4月14日 (2016.4.14)

【公開番号】特開2015-187119(P2015-187119A)

【公開日】平成27年10月29日 (2015.10.29)

【年通号数】公開・登録公報2015-066

【出願番号】特願2015-96792(P2015-96792)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/10 (2006.01)

A 6 1 P 17/16 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/566 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 7/10

A 6 1 P 17/16

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68 A

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/566

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月24日 (2016.2.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

慢性又は急性のUVBにより誘発される皮膚損傷又はUVBにより誘導される浮腫を低減させる製剤であって、皮膚中の血管内皮成長因子 (VEGF-A) の発現、活性又はレベルを低減させる因子を含んでなる製剤。

【請求項 2】

皮膚中のVEGF-C又はVEGF-Dの発現、活性又はレベルを増加させる因子をさらに含んでなる、請求項 1 に記載の製剤。

【請求項 3】

前記VEGF-Aの発現、活性又はレベルを低減させる因子が、VEGF-A又はVEGF受容体 (VEGFR) -2に特異的に結合する抗体、突然変異した不活性のVEGF-Aポリペプチド、可溶性VEGFR-2ポリペプチド又はその断片、VEGF-A又はVEGFR-2核酸に結合してVEGF-A又はVEGFR-2の発

現を低減することのできる核酸及びVEGFRチロシンキナーゼ阻害剤からなる群から選ばれる、請求項 2 に記載の製剤。

【請求項 4】

前記VEGF-C又はVEGF-Dの発現、活性又はレベルを増加させる因子が、VEGF-C又はVEGF-Dポリペプチドの配列を含んでなるポリペプチド又はVEGF-C又はVEGF-Dポリペプチドをコードする配列を含んでなる核酸である、請求項 2 に記載の製剤。

【請求項 5】

前記VEGF-Aの発現、活性又はレベルを低減させる因子が、VEGF-A又はVEGFR-2に特異的に結合する抗体である、請求項 3 に記載の製剤。

【請求項 6】

前記VEGF-Aの発現、活性又はレベルを低減させる因子が、アンチセンス核酸、siRNA及びリボザイムからなる群から選ばれるVEGF-A又はVEGFR-2核酸に結合してVEGF-A又はVEGFR-2の発現を低減することのできる核酸である、請求項 3 に記載の製剤。

【請求項 7】

前記VEGF-Aの発現、活性又はレベルを低減させる因子が、VEGFRチロシンキナーゼ阻害剤である、請求項 3 に記載の製剤。

【請求項 8】

担体をさらに含んでなる、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の製剤。

【請求項 9】

前記担体がリボソームである、請求項 8 に記載の製剤。

【請求項 10】

局所投与のために処方されている、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の製剤。

【請求項 11】

前記製剤が筋肉内、腹腔内、皮下又は静脈内投与のために処方されている、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の製剤。

【請求項 12】

保存剤、香料、保湿剤又は日焼け止め剤の 1 又は複数をさらにふくんで成る、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の製剤。

【請求項 13】

溶液、クリーム、軟膏、ゲル、ローション、シャンプー、石鹸又はエーロゾルとして処方されている、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の製剤。

【請求項 14】

慢性又は急性のUVBにより誘発される皮膚損傷又はUVBにより誘導される浮腫を低減させる製剤を調製するための、皮膚中のVEGF-Aの発現、活性又はレベルを低減させる因子の使用。

【請求項 15】

前記製剤が、皮膚中のVEGF-C又はVEGF-Dの発現、活性又はレベルを増加させる因子をさらに含んでなる、請求項 14 に記載の使用。

【請求項 16】

前記VEGF-Aの発現、活性又はレベルを低減させる因子が、VEGF-A又はVEGFR-2に特異的に結合する抗体、突然変異した不活性のVEGF-Aポリペプチド、可溶性VEGFR-2ポリペプチド又はその断片、VEGF-A又はVEGFR-2核酸に結合してVEGF-A又はVEGFR-2の発現を低減することのできる核酸及びVEGFRチロシンキナーゼ阻害剤から成る群から選ばれる、請求項 14 に記載の使用。

【請求項 17】

前記VEGF-Aの発現、活性又はレベルを低減させる因子が、VEGF-A又はVEGFR-2に特異的に結合する抗体である、請求項 16 に記載の使用。

【請求項 18】

前記VEGF-Aの発現、活性又はレベルを低減させる因子が、アンチセンス核酸、siRNA及びリボザイムからなる群から選ばれるVEGF-A又はVEGFR-2核酸に結合してVEGF-A又はVEGFR

-2の発現を低減することのできる核酸である、請求項 1 6 に記載の使用。

【請求項 1 9】

前記VEGF-Aの発現、活性又はレベルを低減させる因子が、VEGFRチロシンキナーゼ阻害剤である、請求項 1 6 に記載の使用。

【請求項 2 0】

前記VEGF-C又はVEGF-Dの発現、活性又はレベルを増加させる因子が、VEGF-C又はVEGF-Dポリペプチドの配列を含んでなるポリペプチド又はVEGF-C又はVEGF-Dポリペプチドをコードする配列を含んでなる核酸である、請求項 1 5 に記載の使用。

【請求項 2 1】

前記製剤が浮腫を低減させる、請求項 1 4 ~ 2 0 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 2 2】

前記製剤が担体をさらに含んでなる、請求項 1 4 ~ 2 1 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 2 3】

前記担体が賦形剤、滑剤、崩壊剤又は結合剤である、請求項 2 2 記載の使用。

【請求項 2 4】

前記担体がリポソームである、請求項 2 2 に記載の使用。

【請求項 2 5】

前記製剤が徐放性である、請求項 1 4 ~ 2 4 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 2 6】

前記製剤が局所投与のために処方されている、請求項 1 4 ~ 2 5 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 2 7】

前記製剤が溶液、クリーム、軟膏、ゲル、ローション、シャンプー、石鹸又はエーロゾルである、請求項 1 4 ~ 2 6 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 2 8】

前記製剤が保存剤、香料、保湿剤又は日焼け止め剤の 1 又は複数をさらに含んで成る、請求項 1 4 ~ 2 7 のいずれか 1 項に記載の使用。